

ワインから始まる 倶楽部ライフを提案

栃木ヶ丘GC(栃木県)

心地よい初夏の風に包まれた6月17日の夕刻、栃木ヶ丘ゴルフ倶楽部(18H)の練習グリーン付近に「Kaori」(マオリの挨拶)がごきました。ニュージーランドのワインメーカーを招いて、ワインとラムチョップなどを楽しむ「ニュージーランドワインフェス」を開催したので。しかも、英国のトラディシ

ヨナルフォークの生演奏付き！「ニュージーランドでは多くのワイナリーがガーデンパーティーを定期的に行っており、遠方の人が地域に足を運ぶきっかけになっているそうです。同じ施設産業として、「ビビビツ」と来ました。ゴルフ場を身近に感じてもらうためには、こうしたイベントもありでは

ないか、と」

こう語るのは、現地を視察した福島
範治代表取締役。

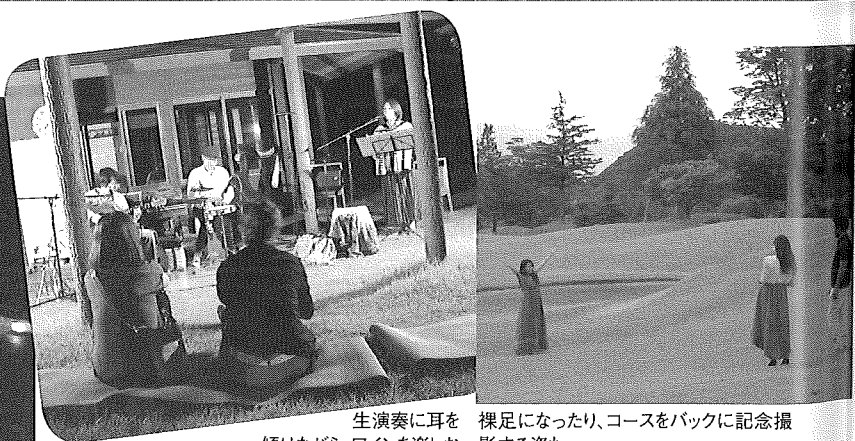
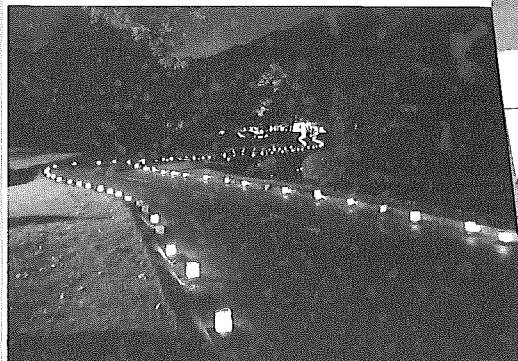
イベント(参加費5400円)には52人が参加したが、メンバーやその家族といった倶楽部に縁がある人ばかりではない。ニュージーランド航空のメルマガで告知したところ、ゴルフ未経験のニュージーランドファンが数人参加したという。
「メンバーはもちろんですが、ゴルフ場に初めてきたというお客様にもゴルフコースの美しさや倶楽部ライフのよさを感じてもらおうと演出にもこだわりました」

とは、鈴木義之支配人。バンド演奏

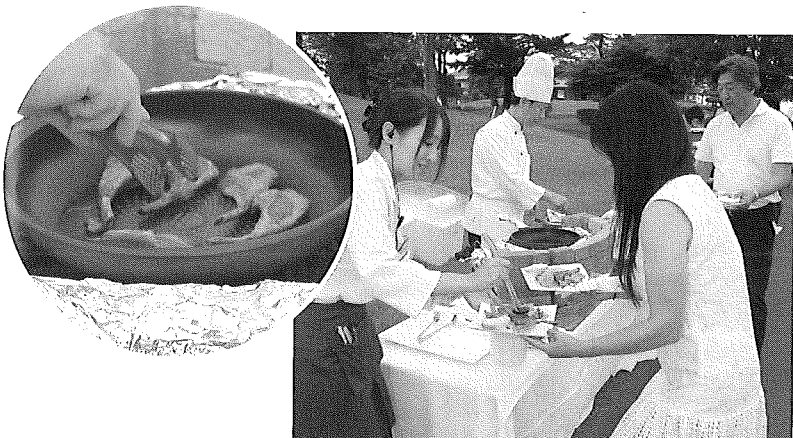


ニューファンから生産者を招いて、ワイン談義を

通路沿いにロウソクランプを置くなど、雰囲気づくりにも注力



生演奏に耳を傾けながら、ワインを楽しむ
裸足になったり、コースをバックに記念撮影する姿も



と併せて好評だったのが、クラブハウスから会場までの通路(約50m)沿いに並べたオリジナルランプ。ペットボトルを風除けに利用したもので、ロウソクのゆらぎが幻想的な空間を作り出していた。
ワインと食事、そして雰囲気にも大満足の参加者たち。裸足で芝生の上を歩いたり、18番グリーンをバックに記念撮影する姿もあった。